

平成20年10月21日



さて、平成20年9月19日付国道企第37号で、ご依頼がありました、今後の道路行政についての意見・提案について別紙の通り提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮城県

塩竈市

次期「社会資本整備重点計画」は、現行の重点目標である「暮らし」「安全」「環境」「活力」を基本としながら、地域の自立活性化に向けた「活力」をより重視し「活力」「安全」「暮らし環境」「横断的な政策課題」を重点目標に設定されている。

また、老朽化した社会資本ストックの維持管理や更新を重視することや、事業評価のあり方としてCO2削減効果や人命価値等を考慮した評価を取り入れる案が示されている。

これらの次期重点計画で示された内容を見据え、本市の目指す将来像の実現するため、塩竈のあるべき道路行政を考えると、次のことを考慮したい。

- ・産業経済の活性化にとって、地域間の連携機能強化のたての広域道路ネットワークの早期実現。
- ・近い将来確実に予想される、宮城県沖地震に備えた国道45号を補完する代替路線の確保。
- ・起伏が多く狭隘道路が多い状況で、高齢者を含め、更なる地域住民の交流連携強化のための道路整備。
- ・古代から港まちとして栄え、歴史と文化の潜在する資産をより活用した道路づくり。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

様式②
宮城県 塩竈市

○現状

本市は、古代には国府多賀城の港として、近世には陸奥国一之宮鹽竈神社の門前町として栄えるとともに、生鮮めばちマグロ水揚げ日本一の水産都市でもある。

また、行政面積は17.86km²と非常にコンパクトである中で人口密度は東北一の3.3千人/km²と高いまちである。

しかし、現状としては、歴史と資源に恵まれ古くから港まちとして栄え、都市化が形成された故に、今また新しい局面を迎えています。

地域活力の増強のための基幹産業の再生、観光の再生、少子高齢化と人口流出の抑制、防災対策といった打開策が求められており、その解決策として、道路行政の果たすべき役割は非常に大きい。

○課題

- ・賑わいと活力あるまちづくりの推進に向け、特に、地域経済産業の振興にとって、物流基地構想の具現化、地場産業の流通コスト軽減のための三陸縦貫自動車道へのアクセス路線の早期整備。
- ・観光施策を推進するため、祭りのための柔軟な道路の活用。
- ・高齢者を含め地域住民の利便性向上を図るための、市内15分交通圏の確保に向けた狭隘道路解消。
- ・災害時における緊急物資輸送の充実を図るため、国道45号の代替路線の整備とがけ地の法面補強、橋梁の耐震補強。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指す将来像

様式③
宮城県 塩竈市

塩竈市は、「海、食、人が生きるまち塩竈」の都市像を目指し「日本で一番住みたいまち塩竈」の実現に向け「元気です塩竈」「安心です塩竈」「大好きです塩竈」を市政運営の基本的な考えとして、賑わいと活力のまち、安全で安心して暮らすまち、誇りと愛着のあるまちづくりを進めています。

本市のまちの特色としては、行政面積が17.86km²と非常にコンパクトなまちであり、人口密度は東北一の3.3千人/km²と高く、港まち特有の起伏が多く、市街地の多くは埋め立てにより形成されたまちであります。

また、海上交通の拠点としての特定第三種漁港、特定重要港湾仙台塩釜港(塩釜港区)を有しており、塩釜港に水揚げされる生鮮本マグロ、めばちマグロは水揚げ量日本一を誇り、水産練り製品の生産量も日本一であります。特にめばちマグロについてはブランド品として「三陸塩竈ひがしもの」の商標登録を行いました。

本市のまちの歴史は古く、古代には国府多賀城の港として、近世は陸奥国一之宮鹽竈神社の門前町として栄えてきた歴史と資源を生かし、さらなる、「日本で一番住みたいまち塩竈」の実現に向け、選択と集中を明確化し、組織においても横断的な取り組みを行い、市民との協働のまちづくりを進めております。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項

宮城県

様式④

塩竈市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	経済産業の振興、国際的な水産物流基地構想の推進のための三陸縦貫自動車道へのアクセス路線の早期整備	流通コストの軽減	
・大規模な地震・火災に強い国土づくり	宮城県沖地震に対する市内と他市を結ぶ代替路線及び崖地、橋梁の耐震補強対策	地震災害の被害を最小限にとどめ、市民生活を守る	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	市内15分交通圏の確立	高齢社会に対応し、生涯生きがいを持ち続けるための足の確保	
・良好な景観の形成	観光に対応した、祭りイベントのための柔軟な道路の活用	経済の活性化	